

第7回ヒスタミン研究会

I. ヒスタミン受容体

1. 虚血心からのノルエピネフリン放出ーヒスタミン H₃ レセプターノックアウトマウスを用いた検討ー
小山基弘^{1, 2}、服部裕一¹
(¹北海道大・院・医学研究科・細胞薬理、²北海道大・医・附属病院・集中治療部)
2. ヒスタミン H₁ 受容体の H₁ 受容体を介するリン酸化と M₃ ムスカリン受容体を介するリン酸化
三好勝洋、河上希、児玉まどか、堀尾修平、福井裕行
(徳島大・薬・薬物学)
3. 大腸がん担癌マウスに対するヒスタミン H₂ 受容体拮抗薬の腫瘍増殖抑制効果
ー血管新生を介した作用
富田和義、岡部進 (京都薬大・応用薬理)
4. 抗原抗体反応による RBL-2H3 細胞からのヒスタミン遊離に対する H₄ 受容体の役割
日高亮子¹、橋本剛¹、大西陽一¹、春沢信哉²、栗原拓史²、坂本靖彦³、大和谷厚¹
(¹大阪大・院・医学研究科・保健、²大阪薬大、³アズウェル)

II. 肥満細胞

5. イオン性および非イオン性ヨード造影剤によるラット肺肥満細胞からのヒスタミン遊離機序の比較
矢野貴久¹、斉藤麻美¹、窪田敏夫²、千堂年昭²、伊藤善規^{1, 2}、大石了三^{1, 2}
(¹九州大・院・薬学府、²九大病院・薬剤部)
6. IgE による感作に伴うマスト細胞活性化機構の解析
田中智之¹、三倉園子¹、高須裕司¹、市川厚²
(¹京都大・院・薬学研究科・生体情報制御学、²武庫川女子大・薬・衛生化学)
7. マウス肥満細胞からの抗原誘発によるヒスタミン遊離におけるプロスタノイドの役割
和佐本諭¹、田中宏幸¹、稲垣直樹¹、成宮周²、永井博弼¹
(¹岐阜薬大・薬理、²京都大・院・医学研究科・神経・細胞薬理)

III. アレルギー

8. 遅発型喘息反応におけるマスト細胞の役割：マスト細胞欠損ラット (WS/WS) を用いて
Shuang Liu、千原一泰、前山一隆
(愛媛大・医・薬理)
9. 鼻過敏性存在下でのアレルギー性鼻炎症状の発現におけるヒスタミンの関与について
奈邊健¹、水谷暢明¹、竹中洋²、河野茂勝¹
(¹京都薬大・薬理、²大阪医大・耳鼻咽喉科)
10. レボカバスチンとペミロラストの併用による作用増強効果のメカニズム
南和寿、杉本幸雄、亀井千晃
(岡山大・薬・薬物作用解析)
11. 実験的アレルギー性結膜炎における反復反応惹起によるヒスタミンの関与の現弱について
片山剛¹、福島禎隆¹、水谷暢明¹、奈邊健¹、中田勝彦²、河野茂勝¹
(¹京都薬大・薬理、²参天製薬)

IV. 末梢におけるヒスタミンの作用(1)

12. 室内気吸入時の呼吸、代謝、体温調節にかかわるヒスタミンの役割
岩瀬みち子¹、宮本謙一^{1, 2}、泉崎雅彦¹、金丸みつ子¹、木村弘²、本間生夫¹
(¹昭和大・医・第二生理、²奈良医大・第二内科)

13.高炭酸ガス吸入時の呼吸調節機構におけるヒスタミンの関与
宮本謙一^{1, 2}、岩瀬みち子¹、泉崎雅彦¹、木村弘²、本間生夫¹
(¹昭和大・医・第二生理、²奈良県立医科大・第二内科)

14.ストレプトゾトシン誘発糖尿病ラットにおける胃酸分泌反応の変化
加藤伸一、竹内孝治(京都薬大・薬物治療)

V. ヒスタミン神経系

15.ヒスタミン H₂ 作用による興奮性神経伝達物質放出抑制と虚血性神経細胞障害の改善
足立尚登、浜見 原、三世敏彦、新井達潤
(愛媛大・医・麻酔・蘇生学)

16.抗ヒスタミン薬によるヒト脳内ヒスタミン H₁ 受容体占拠率の測定
：オロパタジンとケトチフェンのプラセボ比較試験と CONGA 会議の基準
田代学¹、望月秀紀¹、櫻田幽美子¹、石井賢二²、木村裕一²、織田圭一²、石渡喜一²、谷内一彦¹
(¹東北大・院・医学系研究科・細胞・病態薬理学分野、
²東京都老人総合研究所・ポジトロン医学研究部門)

17.L-ヒスチジンの α -フルオロメチル化によるラット血液脳関門輸送特性の変化
櫻井栄一¹、櫻井映子²、落合義徳¹、渡邊建彦³、谷内一彦²
(¹東北薬大・第1薬剤、²東北大・医・細胞薬理、³東北大・医・教育評価センター)

18.摂食行動による視床下部ヒスタミン遊離増加にかかわる因子についての検討
石塚智子¹、Treesukosol Yada²、村上雅寛¹、山本隆²、大和谷厚¹
(¹大阪大・院・医学研究科・保健・生体情報、²大阪大・院・人間科学・行動生理)

19.アミノ酸 L-ヒスチジンの視床下部神経ヒスタミンを介した抗肥満糖尿病作用
千葉政一¹、正木孝幸¹、野口仁¹、穴井学¹、浜口和之¹、坂田利家²、吉松博信¹
(¹大分大・医・第一内科、²大分大・医・第一内科・名誉教授)

VI. HDC

20. *Propionibacter acnes*-LPS 誘発性マウス急性肝炎モデルにおける
誘導性ヒスタミン動態と肝細胞保護作用：HDC ノックアウトマウスを用いた解析
横山穰¹、高橋英夫¹、久保慎一郎¹、森秀治¹、横山玲¹、渡邊建彦²、大津浩²、西堀正洋¹
(¹岡山大・院・医師学総合研究科・機能抑制学・薬理、²東北大・院・医学研究科・細胞薬理)

21.ヒスタミン欠如マウスにおける皮膚創傷治療遅延機構
大津浩¹、沼田透効²、杉浦淑恵¹、照井正²
(¹東北大・工・応用量子医工学、²医・皮膚)

22.敗血症病態でのヒスタミン合成亢進を MIF が制御する
松田直之^{1,2}、西平順³、Subrina Jesmin¹、丸藤哲²、服部裕一¹
(¹北海道大・院・医学研究科・細胞薬理学、²救急医学、³分子生化学)

VII. 末梢におけるヒスタミンの作用(2)

23.胃血管結紮ラットにおけるヒスタミン誘起胃損傷発生機序の検討
小谷透、天ヶ瀬紀久子、岡部進
(京都薬大・応用薬理)

24.ヒト末梢血単核球における LPS 誘発性 TNF- α 産生に対するヒスタミンの抑制効果の解析
高橋英夫、森近俊彦、田村竜二、横山穰、森秀治、西堀正洋
(岡山大・院・医歯学総合研究科・薬理)

25. Prostaglandin E2 によるヒスタミン誘起胃粘膜障害の増悪

—EP1 受容体を介した血管透過性の亢進—

横田彩、長谷晶子、田中晶子、竹内孝治
(京都薬大・薬物治療)

26. 肉芽組織における血管新生に対する

ヒスタミン—血管内皮増殖因子—アンジオポエチン 1 経路の関与

平澤典保、Ajoy Kumar Ghosh、大内和雄
(東北大・院・薬学研究科・機能分子生化学分野)